

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 418 号	氏名	後藤 貴史
学位審査委員	主査 川上 純 副査 永山 雄二 副査 酒井 英樹		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究はタムスタチンの肝細胞癌治療への有効性を、培養細胞実験と動物実験を用いて検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>タムスタチン断片(tum-1) cDNA を肝癌細胞株に遺伝子導入し、このtum-1 恒常発現株を用いて血管新生抑制効果と腫瘍退縮効果を解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、tum-1 は肝癌細胞株の増殖、血管内皮細胞の増殖と遊走および血管新生を抑制して、腫瘍退縮効果を示すことが明らかとなった。今後の肝細胞癌に対する血管新生抑制遺伝子治療への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は肝細胞癌の遺伝子治療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			